

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	湘南こども村 やまぶき		
○保護者評価実施期間	2026年 3月 1日		～ 2026年 3月 23日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	2026年 3月 1日		～ 2026年 3月 18日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 11
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもが安心して過ごせる環境と支援体制	こども一人ひとりの特性や状況を理解し、安心して過ごせる環境づくりを大切にしている。 職員間の情報共有は欠かさない。	今後もこどもたちが安心して過ごせる居場所となるよう職員間の情報共有、支援の質の向上に努めていく。
2	様々な活動やイベントによる経験の機会	外遊びやイベントを取り入れ、こどもたちが様々な経験を楽しみながら積めるように活動している。	今後もこどもたちの興味関心や発達段階に合わせた活動を取り入れ、充実した活動を提供していく。
3	ご家庭・学校との連携	ご家庭や学校との情報共有を行い、支援につなげる。 連絡帳やLINE、面談等を通して保護者とのコミュニケーションを大事にしている。	今後もご家庭や関係機関との連携を強め、一貫した支援を行えるよう努める。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流や放課後児童クラブとの関わり	近隣の看護大学の学生ボランティアの受け入れを行った り、小学校の校庭など地域の中で活動する機会はある が、交流は十分といえず、限定的かもしれない。	こどもたちの状況や安全に配慮しながら、地域のこどもたちとの自然な関わりや交流の機会を少しずつ広げるような活動内容を検討していく。
2	情報発信・周知	支援プログラムや非常時の対応等についてはホームページに掲載しているが、保護者の中には「わからない」と感じている方もおり、周知方法が十分でない可能性がある。	ホームページの掲載に加え、お便りや連絡帳等を通して、保護者にとってわかりやすい内容で情報提供していく。
3	家族支援・保護者交流	家族支援プログラムは実施しておらず、保護者同士の交流も限られているため、支援や交流が十分ではないと感じている保護者の方もいらっしゃるのではないか。	今後も必要に応じて保護者からの相談に適切な助言を行うとともに、外部研修の情報提供も行う。 また、茶話会等、保護者同士が交流できる機会の定着を図り、継続して実施できるよう努めていく。